

大会宣言

新型コロナウイルスの出現で社会が一変しました。今年開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックは延期され、わが国において初めて「緊急事態宣言」が発令されるなど、新型コロナウイルスは未曾有の災禍をもたらしています。移動自粛や外出制限に加え、この夏の記録的な猛暑や豪雨災害などにより、さまざまな活動が制限されるなか、私たちは、「新たな生活様式」などを踏まえてコロナ禍にあっての民生委員・児童委員活動のあり方を模索・構築しています。民生委員・児童委員は、100年以上の永きにわたり地域住民の立場に立ち、時代ごとの福祉課題を発見し、制度や支援につないでまいりました。その役割は変わらず、人と人が疎遠になりがちな今こそ、各地域における私たちの関わりがこれまで以上に重要性を増しています。また、地域共生社会の実現に向けて、民生委員・児童委員が地域の身近な相談相手として期待される役割に応えるため、民児協の組織活動を強化することが引き続き求められます。

私たち全国約23万人の民生委員・児童委員は、コロナ禍にあってでも行政・社協をはじめ地域のさまざまな方がたと連携し、常に地域住民に寄り添いながら、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりをめざします。この決意を込め、本日、第89回全国民生委員児童委員大会の開催にあたり、次のとおり宣言します。

- 一、コロナ禍にあっても、地域の幅広い関係機関とともに工夫を図り、地域で孤立し支援を必要とする人びとへの見守りや相談活動を継続し、地域共生社会づくりに取り組みます
- 一、民生委員・児童委員が率先して地域の子育て応援団となり、わが国の未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域づくりに取り組みます
- 一、東日本大震災をはじめ、全国の大規模災害被災地の人びとや、そこで活動する民生委員・児童委員への支援を引き続き行うとともに、災害に備えた地域づくりに取り組みます
- 一、基本的人権についての理解を深めるとともに、人権啓発に関する活動に積極的に協力し、人権を尊重した地域づくりに取り組みます
- 一、広く社会に対し民生委員・児童委員制度の周知を図り、民生委員・児童委員活動の正しい理解の醸成と一層の充実・発展に向けて取り組みます

令和2年10月22日

第89回全国民生委員児童委員大会

※第89回全国民生委員児童委員大会は、当初群馬県高崎市で開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のための「新しい生活様式」のもとでは、群馬県での3500人規模での開催は困難と判断し、主催団体で協議の結果、内容・規模を縮小し、東京近郊（新横浜プリンスホテル）での開催といたします。